

令和5年度学校評価報告書

令和6年3月28日

北海道教育委員会教育長 様

北海道紋別高等学校長

次のとおり令和5年度の学校評価について報告します。

1 本年度の重点目標

求められる教育改革の実践、新学習指導要領の着実な実施等を踏まえ、新しい時代の学校教育の実現を目指す。
1 新たな知識、人間性、社会性を育む教育の充実
2 主体的な学び・行動による学力の向上と進路実現
3 地域との協働を通して、地域を担う人材の育成

2 自己評価結果・学校関係者評価結果の概要と今後の改善方策

評価項目	自己評価の結果	学校関係者評価の結果
教 務	学習評価について、専門知識だけではなく多様な生きる力を身に付けさせるため、観点別評価の充実と改善に向け、中間考査を廃止するなど、指導と評価の一体化をより一層進めた。また、新学習指導要領の施行から2年目となり、昨年度の反省から授業方法や校務支援システムの運用について改善を進めた。特に授業方法については新学習指導要領の完成年度に向けて、評価方法の充実や定期考査の在り方について重点的に取り組んでいく。	家庭における学習習慣や学習に対する意欲が昨年度と比較して増加しているという回答が約70%であった。普通科においては昨年度に引き続きICTを活用した授業改善を行い、専門学科においては資格取得と地域と連携した商品開発や海外との国際交流を積極的に実施するなど、より一層地域との連携や協働を進め、地域に根ざした教育により、地域に貢献できる人材育成に努めてもらいたい。
改善方策	・授業と評価の在り方についてさらに充実と改善を推進するため、情報収集や研修の充実を図っていく。	
生徒指導	校則の見直しを実施し、身だしなみに関する規定を改正した。生徒の校則に対する理解を深め、自分たちのものとして守っていく態度を養うことを目的に学級討議を経て改定し、生徒の主体性を培う機会となった。また、いじめ防止対策委員会を活性化させ、いじめに対して組織的に対応することにより、早期発見と早期対応、早期解決を図った。	身だしなみに関する規定の見直しや改正についてのご意見が多数見られた。特に服装に関する規定について、価値観の多様性に応じた柔軟な対応が求められている。本校に入学させてよかったとの回答が80%を越えているが、今後も生徒の主体性を育てる教育活動と、いじめの早期対応に心掛けていく必要がある。
改善方策	・教育相談体制及び支援組織による指導の推進により、いじめの未然防止及び早期解決を図っていく。 ・教職員と生徒、保護者、地域との信頼を基盤として開発的、予防的な生徒指導の推進を図っていく。	
進路指導	進路シラバスにより3年間のロードマップを示し、進路指導連絡票を用いて教職員の共通理解を図ることにより、計画的なキャリア教育を構築することができた。また、職業人座談会やインターンシップ等の地域人材を活用した教育活動により、生徒のキャリア発達に応じた指導を行うことができた。	生徒の主体的な進路決定ができるようになってきているという回答が約70%となっており、計画的で組織的・体系的なキャリア教育に対する取組の成果と考える。進学講習や12時間耐久レース等について、その成果を検証した上で今後の実施方法について検討してもらいたい。
改善方策	・組織的、体系的な進路指導体制の確立に向け、研修会を実施することにより教員のスキルアップを図っていく。 ・地域人材を活用した教育活動を展開し、地元への定着率を高めるよう努めていく。	
公表方法	ホームページ上に学校評価報告書を掲載する。	